

献 辞

山本裕美先生は、2008年9月26日に満63歳の誕生日を迎えられ、2009年3月7日に法経第7教室で多数の学生、卒業生、研究者を聴衆として最終講義「中国経済研究三十五年」を行われました。3月末日をもちまして、京都大学を退職されます。

山本先生は、昭和45年3月京都大学農学部農林経済学科卒業、昭和47年3月京都大学大学院農学研究科修士課程修了、昭和49年3月同大学院農学研究科博士課程を退学されました。その後、平成4年1月京都大学博士（農学）を取得されました。昭和49年4月通産省管轄特殊法人アジア経済研究所に入所、経済成長調査部、総合研究部等に勤務し、平成元年4月主任調査研究員、平成2年9月アジア経済研究所開発スクール教授、平成7年10月開発研修室室長（開発スクールの学部長、事務局長を兼務）を命じられ、平成9年3月に退職されました。また昭和56-58年にはアジア経済研究所の海外派遣員として香港大学アジア研究中心客員研究員、平成4-6年には海外調査員としてロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）現代中国研究所客員研究員を勤められました。アジア経済研究所に在職した23年間、中国経済（香港・台湾・シンガポールを含む）、開発経済学の調査研究に従事されました。

その後、平成9年4月に京都大学経済学研究科教授に採用となられ、平成16年4月から同研究科附属上海センター長を併任され、現在に至っております。その間、東アジア経済（中国・香港・台湾を中心とする）に関する研究及び開発経済学に関する研究に傾注され、多大の業績を残されるとともに、数多の後進を育成し指導されました。

山本先生は、とくに東アジア経済論の研究、あるいは東アジア比較経済論の研究などで指導的な立場に立ち、学会での高い評価を受けて来られました。また、国内外で多数の著書、編書を刊行してきたことはもとより、国際学術会議

やセミナーを主宰するなど、政策形成にも大きな影響を与えてられました。アジア政経学会、地域農林経済学会、中国経済学会、北東アジアリサーチネットワーク、国際アジア共同体学会などの理事・委員としても活躍し、社会的活動にも尽力されました。

山本先生はまた、本研究科附属上海センターの設置・運営に尽力し、復旦大学、人民大学、西安交通大学等中国の大学や台湾の政治大学との学術交流協定締結や学術交流に多大の貢献をされてきました。

こうした先生の多年にわたるご功勞に対する敬意と感謝の気持ちを込めて、『経済論叢』の本号を記念号として編集いたしました。先生とゆかりのある方々から寄せられた論文を編んで、本号を先生にお贈りできますことは、私どもものこの上ない慶びとするところであります。

先生が今後ともますますご健康で、京都大学、経済学、広く社会のために、ご活躍なさいますことを心から祈念いたします。

2008年8月1日

京都大学大学院経済学研究科長・経済学部長 森 棟 公 夫